

平成 28 年度 第 3 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時 平成 28 年 1 月 11 日 (金) 14:00～16:55
 場 所 琉球大学医学部 管理棟 3 階 大会議室
 構 成 員 37 名 (欠席者 5 名)

1 号委員 (琉大病院長)	藤田 次郎
2 号委員 (県立中部病院長)	本竹 秀光 (欠席)
(那覇市立病院長)	屋良 朝雄
3 号委員 (県立宮古病院長)	上原 哲夫
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝
4 号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
5 号委員 (沖縄県医師会長)	安里 哲好
6 号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬 (欠席)
7 号委員 (沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
8 号委員 (沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (代理) 平 順寧
9 号委員 (沖縄県政策参与)	村田 譲二
10 号委員 (沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (代理) 糸数 公
11 号委員 (琉大がんセンター長)	増田 昌人
12 号委員 (琉大医療福祉支援センター長)	藤田 次郎
13 号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳
14 号委員 (琉大看護部長)	下地 孝子
15 号委員 (琉大事務部長)	熊谷 圭司 (代理) 金城不二子
16 号委員 (県立中部病院副病院長)	比嘉 真利子
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩
17 号委員 (県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立宮古病院副院長)	本村 悠子
(県立八重山病院副院長)	玉城 和光
(県立八重山病院看護部長)	渡口 直子
18 号委員 (北部地区医師会病院看護部長)	柴山 順子
19 号委員 (沖縄県がん患者会連合会)	田仲 康榮 (代理) 安里香代子
(がんの子供を守る会沖縄支部代表)	片倉 政人
(公益社団法人日本オーストリア協会沖縄支部長)	大城 松健 (欠席)
(ゆうかぎの会(離島におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
20 号委員 (国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(特定非営利活動法人グループ・ネサス理事長)	天野 慎介
(沖縄タイムス社会部副部長待遇)	儀間 多美子 (欠席)
21 号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	加留部謙之輔
(琉大病院第一外科長)	西巻 正 (代理) 狩俣弘幸
(琉大病院小児科講師長)	百名 伸之 (欠席)
部会説明者 緩和ケア部会長	笹良 剛史
がん登録部会長	仲本 奈々
普及啓発部会長副会長	長野 宏昭
陪 席 者 沖縄県保健医療部健康長寿課癌対策班主査	徳田 麻紀子
琉大病院地域医療部	高橋 秀徳

○議事進行に先立ち、議長による協議会開会宣言の後、毎年恒例のがん検診啓発ポスターコンテストの実施について、休憩、協議会終了後の時間を利用した投票の協力案内があった。

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 平成28年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(平成28年10月17日開催)

増田委員(11号委員)から、資料1の第3回幹事会議事要旨(平成28年10月17日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

2. 平成28年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(平成28年8月12日開催)

増田委員(11号委員)から、資料2の第2回協議会議事要旨(平成28年8月12日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

3. 平成28年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(平成28年8月12日開催)

増田委員(11号委員)から、資料3の第2回協議会議事録(平成28年8月12日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員(11号委員)から、資料4に基づき本協議会委員、幹事会及び部会委員について説明があり、部会委員の変更について報告があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(20号委員)から資料5に基づき、地域別・がん種別のデータを活用して開催する「がん政策サミット」について、趣旨説明及び研修プログラムの説明があった。がん種別のがん対策における課題の診断と戦略立案のため、ロジックモデルを用いたPDCAの実施が全国的に広まっていること等の補足説明があった。

審議事項

1. がん診療病院のグループ指定について

諸喜田委員(4号委員)から資料6に基づき、北部地区医師会病院におけるがん診療体制の見直しに伴い、グループ指定の組み合わせに係る経緯説明と変更について提案があった。医師の交流や診療連携がある現状を踏まえ、琉球大学医学部附属病院とのグループ指定について、了承された。

2. 「平成28年度第5回九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムin沖縄」について

増田委員(11号委員・相談支援部会長)から資料7に基づき、当該フォーラムの概要説明と併せて委員へ意見等をいただきたい旨、相談支援部会としての提案があり、開催について了承された。

委員から以下のような意見があった。

・真栄里委員(19号委員)

長崎で実施された会に出席経験があり、大変有意義であったので、参加を希望する患者会の参加について、対象者に含めていただきたい。

⇒実務担当者を対象としているため、相談支援部会及び実行委員会で検討することになった。

3. 「沖縄県：医療圏別／がん種別死亡数削減プロジェクト(大腸がん)」について

増田委員(11号委員)から資料8(机上配付資料)に基づき、前回の協議会で了承されたプロジェクトを具体化すべく、予防・検診・医療の各専門分野の先生方により委員会を組織し、本協議会での検討を踏まえて委員会として決定したい旨の説明があった。なお、機動力のあるコンパクトな組織を目指した旨藤田議長から補足説明があった。引き続き、増田委員からプロ

プロジェクトのロジックモデルとなる「個別施策」「初期アウトカム」「中間アウトカム」「最終アウトカム」について説明があった。

委員から以下のような意見があった。

- ・沖縄県として、当該取り組みに際しての予算化はできていないため確約できないが協力していきたい。
- ・脳卒中や心筋梗塞の取り組みにもこの手法は使えるのではないかと、よい情報だと思われるので、今後皆と一緒に取り組んでいきたい。
- ・沖縄県の「沖縄健康21」の取り組み事業と重複する部分は良い形でタイアップして実施していくことが大事。
- ・臨床現場の充実が必要。旗振り役となるリーダー・キーマンが重要で、治療成績の向上と標準化、実務者レベルの充実化を図ることが大切。
- ・プロジェクト委員に看護系が配置されていない。予防検診の分野に保健師等の現場の声が反映されるようにした方がよい。
- ・ロジックモデルについてNCDデータ使用の方向性を示した方がよい。また、データを出すことが目的になってしまい、診療につながらない事態とならないよう、標準治療をしっかりとやっていくことが大事である。
- ・委員は調整中であり、委員長に関しては互選で決定していくことになる。

4. 「2014年症例院内がん登録集計報告書」の改訂について

増田委員（11号委員）から資料9に基づき、2014年症例を分析する報告書集計内容等の改定案について説明があった。引き続き、5年生存率の公表方法について説明があり、提案どおり了承された。また、昨年同様にデータ開示について資料10により協力依頼する旨説明があり了承された。

5. 平成28年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員（11号委員）から資料11に基づき説明があり、日程を確認し了承された。

6. その他

- ・真栄里委員（19号委員）より、大腸がんプロジェクト委員の選出について患者の立場、認定看護師の追加、進捗状況の報告やシンポジウム等の開催による県民への公開について、検討して欲しい旨の意見があった。
- ・患者連合会の安里代理委員（19号委員の田仲委員代理）から移動サロンの日時について、連携して取り組んでいきたいとの説明があり、事前調整の協力要望があった。

報告事項

1. 平成28年度第1回沖縄県がん対策推進協議会について（県より）

沖縄県保健医療部系数保健衛生統括監（10号委員砂川委員の代理出席）から資料12に基づき、現在協議中の沖縄県がん対策推進協議会の進捗について説明があった。

2. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田委員（11号委員）から資料13に基づき、沖縄県の委託事業で行っている各地域での実施状況について報告があった。

3. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員（11号委員）から資料14に基づき、沖縄県の委託事業で行っているがん相談業務に係る院内におけるピアサポートの報告があった。

4. 第58回 がん対策推進協議会について

5. 第59回 がん対策推進協議会について

6. 第60回 がん対策推進協議会について

増田委員（11号委員）から、厚生労働省関連のがんに関する会議報告について、本協議会での報告が義務づけられている旨の説明があり、資料15～17に基づき厚生労働省でのがん対策推進協議会での議論について報告があった。なお、資料は抜粋記事の添付につき、各人確認す

るよう発言があった。

7. 第9回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会について

8. ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る研修会について

増田委員（11号委員）から、資料18～19に基づき報告があった。詳細については各自確認するよう発言があった。

9. 第3回 がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会について

・増田委員（11号委員）から、資料20に基づき、拠点病院における緩和ケアの提供体制について議論があった旨の説明があった

10. 第19回 がん検診のあり方に関する検討会について

・増田委員（11号委員）から、資料21に基づきがん検診についての費用対効果や、過剰診断について議論があった旨の説明があった

11. 第3回 がん検診受診率等に関するワーキンググループについて

・増田委員（11号委員）から、資料22に基づき説明があり、今後のがん検診の方向性について示されているので各自で確認するよう発言があった。

12. 第8回 がん診療提供体制のあり方に関する検討会について

・増田委員（11号委員）から、資料23に基づき「少数例のがんの情報提供に関する課題」及び「がん相談支援センターの現状と課題」について議論があった旨の説明があった。また、拠点病院の今後についての議論内容は、各自で確認するよう発言があった。

13. 第10回 HTLV-1対策推進協議会について

・増田委員（11号委員）から、資料24に基づき、妊婦検診を含めた啓発普及活動のまとめについての議論があった旨の説明があった。

14. 「がん教育」について

・増田委員（11号委員）から、資料25に基づき、都道府県に対して厚生労働省がん疾病対策課から、学校におけるがん教育教材の指導案の送付が行われた旨の説明があり、内容確認するよう発言があった。また、沖縄県でも、がん教育について研究授業が実施される運びとなった旨補足説明があった。

15. その他

・天野委員（20号委員）より、報告事項第12の「がん診療提供体制のあり方について」に関連して、検討会構成メンバーとして検討会での議論について説明があり、沖縄県におけるがん拠点病院の「サイトビジット」による診療状況調査等の実施について質問があった。これに対し増田委員（11号委員）から、サイトビジットはできていないが、専門部会で課題の共有・把握に努めている旨の説明があった。また、本協議会でも7つの部会において各病院の問題点等について情報提供と共有ができていたとの補足説明があった。

・真栄里委員（19号委員）より、沖縄県のがん対策推進計画の中間評価について、評価を公表しパブリックコメント等により県民の声を拾い、次の計画のステップにしていきたいと思いますとの発言があった。

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

笹良部会長から資料26に基づき、緩和ケア部会の活動・取り組み状況について、患者のスクリーニングについて議論を進めている旨の報告があった。また、緩和ケアについて、全ての医師は必須項目であり、緩和ケア研修会の支援、研修会の単位制についての議論、平成29年度初めの研修医に対する緩和ケア研修会のテコ入れについての報告があった。

2. がん登録部会

仲本部長から資料27に基づき、がん登録部会の各施設の活動・取り組み状況について報告があった。また、生死判明率が低い指摘に関し、事業計画の改訂を行っている旨の補足説明があった。

3. 相談支援部会

増田委員（11号委員、相談支援部会長）から資料28に基づき、相談支援部会の活動・取り組み状況について報告があった。

4. 地域ネットワーク部会

宮里委員（16号委員、地域ネットワーク部会長）から資料29に基づき、地域ネットワーク部会の活動・取り組み状況について報告があった。

5. 普及啓発部会

長野普及啓発部会副会長から資料30に基づき、普及啓発部会の活動・取り組み状況について報告があった。

その他

・埴岡委員（20号委員）から、緩和ケア部会のスクリーニング活動について最後の1歩が現場で出来ていない状況はもったいないという意見に対し、笹良緩和ケア部会長から、現状では診療の待ち時間を利用したスクリーニング、看護師の病棟ラウンド等によるスクリーニングを実施している状況があり、それを主治医と十分に共有出来ていない状況であるとの説明があった。今後、患者の意思を共有する体制作りやフィードバックの実践が必要という旨補足して説明があった。

・真栄里委員（19号委員）から「がん教育」に関して指導上の留意点の展開例に、「がんの原因は生活習慣だけでなく、細菌ウイルス感染等があり……」という文言があるが、これにより「がんはうつるものと誤解されかねない」ので適切な指導が望まれるとの意見があった。

・患者連合会の安里代理委員（19号委員の田仲委員代理）から、離島圏では「緩和ケア」の実態の認識不足、緩和ケア認定看護師が少ないといった事情を憂慮しているとの意見があった。これに対し、県立宮古病院の本村副院長から、地域連携室が相談窓口となっており、直接問い合わせてもらえば適切な緩和ケアについて案内が出来るとの説明があった。